



おたまじゃくし 2024 年 7・8月号 ロングウッドスポーツクラブベビー・キンダークラス発行

大好きな夏がやってきた！！

いよいよ夏到来！海や山、川など、大自然との触れ合える季節がやって来ました。

ロングのプールでも子供達は大はしゃぎ！パワー全開です！みんな、この夏を思い切り遊ぼうね！！

ちょっとお耳を拝借！！“夏”の予防は？

小さなお子さんの肌はとてもデリケートです。直射日光には気をつけて下さいね。

また、海や山、お出かけの際は、冷房、直射日光対策の為に上着を1枚ご準備くださいね。

そして、子供は非常に汗かきです。水分補給とお着替えをこまめに行って上げましょう。

また、小さなお子さんの汗疹は圧倒的に首に多いと言われています。汗を拭くときは乾いたタオル

よりは、濡れたタオルで汗を塩分ごとふき取る事がトラブルを少なくします。ベビーパウダーを使

い過ぎると、汗腺を余計に詰まらせてしまう事もあるそうです。お気をつけくださいね。

お誕生日おめでとう

【ベビークラス】

M.Yちゃん 「1, 2のジャンプ～」がとってもパワフル！もぐりもへっちゃら！！

H.Hくん よく体が動いて、よく笑い、ラッコ浮きがとってもじょうず！！

【キンダークラス】

R.Mくん ひとりでもぐってトンネルがくぐられるよ！！すごいね！！



『ピンチヒッターはパパ！』

レッスンにパパの参加が多くなってきました。窓越しのママを見つけて泣き出してしまうお子さんを、根気よくあやして下さる様子を拝見し頭が下がります。いつもありがとうございます。

子どもはとにかく親の思い通りにはならず、次々と新しい課題を投げかけてくるようです。小さい頃は、良いのか悪いのかも分からず大泣きして、中学生になって少し楽になったかと思えば、思春期で自己中心的に言葉を投げかけてみたり、成人になってようやく大人になったなぁ～と思えば、よそでは大人なのに親の前でまだ子どものままで、子どもはいつまでたっても親にとっては子どもなのですね（実感）そうして子どもたちは、大きくたくましく色々な問題に立ち向かっていくのでしょう。私も子どもと一緒に成長していきました。これらすべてが「子育て」ということですね。上の子が39歳となり、私の親年齢も39歳になりました（笑）

今振り返ってみると、今までのたくさんの悩みの中には、どうでも良いこともたくさんあったように思えます。肩の力を抜いて大きく構えていきましょう。一緒にがんばっていきましょうね（梅 村）

あたらしいお友達

～よろしくお願いいたします～

【ベビークラス】

☆H.Yくん

☆H.Kちゃん

☆H.Mくん

☆R.Sくん



ベビー・キンダークラスに新しい仲間が来てくれました。

新しい環境でのスタートとなる日、小さなお子さんは、初めて見る大きなプールや大勢の人で緊張のあまり泣き出してしまうのも当然です。また、ベビーからキンダークラスへとステップアップするお子さんは、ママがいない寂しさをじっと辛抱しています。新しい環境で涙を浮かべても、やがて笑顔に変わっていくものです。その成り行きをそっと見守っていきましょう。そういう過程こそが“本物の学び”となることでしょう。

「2歳は幼児教育の分岐点」

2歳になると、歩く、走る、跳ぶ、手を使うなどの基本的な基礎運動能力が整う時期です。プールでもたくさんの刺激を子どもたちに伝えていこうと思います。“水中で自由自在に体を柔らかく動かす…”は、一見簡単そうに見えますが、陸上とは違う水中では、思うように動かせないのがこの頃です。できるだけ勇気を出して一人でできるようサポートしてあげてくださいね。

そして、とにかく「遊ぶ、遊ぶ、遊ぶ」たくさん体を動かすことが大切です。

最近外で遊ぶ子どもたちを見かけなくなりました。外遊びから学ぶことは大きく、子どもたちは自然に基礎運動能力を身に付けていきます。しかし、現在は動かなくても遊べる便利さもあり、体を動かす環境にも少しずつ変化が現れています。外遊びが少なくなってきた今の環境を、少しでも改善するために、“私たち指導者の取り組む運動指導法”“毎日の生活の中でいかに体を動かすか…の取り組み”が最も大切になってきます。体を自由自在に動かし、誰とでも怖じずに会話ができ、相手の気持ちを理解し、ルールを守ることができるなど、それらの基礎をつくるのが2歳、3歳の教育目標です。しかし、理想通りにいかないですよね。ただ、この時期に経験の場数をたくさん踏んでるのか否かでは、これから新入園を迎えひとりで立ち向かう心の強さの違いとなっていきます。新入園に向け、必要なことはすべてチャレンジをして準備をしていきたいものですね。まずは、どんどん公園など、同じ年齢の子どもたちが集まる場所に連れて行って、集団の中で遊ばせてあげましょう。集団の中で生きるための基礎づくりを学んでいきます。そして、泣いたり、泣かせたりする中で、自己犠牲や思いやりという「心」を学び、社会性を身につけていきます。このような社会性を身につけている場面では、私たち大人は少し遠くで見守るようにしていきます。子どもたちには体をたくさん動かし、心も体も強く成長されるように一緒に頑張っていきたいですね。（梅 村）